



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 日東紡
 コード番号 3110 URL <https://www.nittobo.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長(氏名) 辻 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 多田 弘行 (TEL) 03-4582-5040
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	64,061	1.4	5,240	△23.7	5,358	△28.2	3,828	△31.2
2019年3月期第3四半期	63,181	△2.2	6,865	△24.5	7,459	△22.1	5,567	△37.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,497百万円(116.2%) 2019年3月期第3四半期 2,543百万円(△77.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	98.66	—
2019年3月期第3四半期	143.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	175,712	98,400	53.3
2019年3月期	151,000	90,740	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 93,577百万円 2019年3月期 89,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—		
2020年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	4.5	7,900	△3.6	7,900	△11.6	5,400	△32.4	139.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Baotek Industrial Materials Ltd. 、除外 1社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	39,935,512株	2019年3月期	39,935,512株
2020年3月期3Q	1,135,330株	2019年3月期	1,133,293株
2020年3月期3Q	38,801,414株	2019年3月期3Q	38,803,847株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資を中心とした民需に支えられ緩やかな回復基調が続いたものの、製造業の企業収益、輸出や生産に減速感がみられました。また、世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が継続していましたが、米中貿易摩擦の動向や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等、先行の不透明さが増しております。

このような環境の下、当社グループは『中期経営計画《Go for Next 100》』に基づき、中長期で持続的な成長を実現するために高付加価値品へのシフトを進めており、第1四半期連結会計期間よりスペシャルガラスの生産設備を順次立ち上げるとともに、人材投資、研究開発も積極的に実施いたしました。

この結果、連結売上高は64,061百万円（前年同四半期比1.4%の増収）、営業利益は5,240百万円（前年同四半期比23.7%の減益）、経常利益は5,358百万円（前年同四半期比28.2%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,828百万円（前年同四半期比31.2%の減益）になりました。

各事業部門における状況および取り組みは以下の通りです。

繊維事業では、日東紡（中国）有限公司の持分譲渡や市況の低迷によって売上高は減少しましたが、値上げの浸透や中国から日本への生産移管による損益の改善がありました。この結果、当事業は売上高2,939百万円（前年同四半期比23.0%の減収）、営業損失は130百万円（前年同四半期比94百万円の改善）となりました。

グラスファイバー事業部門に属する原織材事業、機能材事業、設備材事業では、高付加価値品へのシフトを進めるべく生産設備を立ち上げ、順次、収益貢献が始まりましたが、基盤強化施策に伴う費用の増加の影響を受けました。グラスファイバー事業部門に属する各事業の状況と具体的な取り組みは以下の通りです。

原織材事業では、電子材料向けガラスヤーンのうち高付加価値品はスマートフォンの生産調整が一段落し回復がみられましたが、汎用のガラスヤーン及び強化プラスチック用途の複合材は厳しい状況が続いております。また、基盤強化施策に伴う人件費及び減価償却費の増加に加え当社連結子会社の富士ファイバーグラス株式会社での火災事故、台風19号による福島工場の浸水被害の影響もあり損益が悪化しました。この結果、当事業は売上高18,912百万円（前年同四半期比7.9%の減収）、営業利益は1,714百万円（前年同四半期比45.6%の減益）となりました。

機能材事業では、高速大容量通信に資する電子材料向けスペシャルガラスの需要が引き続き堅調でした。またBaotek Industrial Materials Ltd.が連結子会社となり売上高が増加しました。この結果、当事業は売上高14,172百万円（前年同四半期比33.8%の増収）、営業利益は1,945百万円（前年同四半期比20.9%の増益）となりました。

設備材事業では、設備・建設資材向けガラスクロス及び住宅向け断熱材の販売減に加え、設備投資に伴う減価償却費の増加等により損益が悪化しました。この結果、当事業は売上高16,070百万円（前年同四半期比2.5%の減収）、営業利益は321百万円（前年同四半期比42.1%の減益）となりました。

ライフサイエンス事業では、免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力し売上は堅調に推移しましたが、基盤強化施策に伴う費用の増加の影響がありました。スペシャリティケミカル分野においては、高付加価値品を国内外に安定的に供給しました。また、飲料分野では、多品種小ロットの需要への幅広い対応を継続して行いました。この結果、当事業は売上高11,384百万円（前年同四半期比7.8%の増収）、営業利益は2,082百万円（前年同四半期比6.3%の減益）となりました。

その他事業は、産業機械設備関連事業等の収益確保に取り組みました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績および足元の業績動向に加え、今後の当社グループを取り巻く環境や見通しを踏まえ、2020年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

なお、中国における新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります、当該事象に伴う影響については連結業績予想に織り込んでいません。

2020年3月期 通期連結業績予想値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	89,000	8,200	8,300	5,800	149.48
今回修正予想 (B)	86,000	7,900	7,900	5,400	139.17
増減額 (B) - (A)	△3,000	△300	△400	△400	
増減率 (%)	△3.4	△3.7	△4.8	△6.9	
前期通期実績 (2019年3月期)	82,292	8,198	8,934	7,984	205.76

また、スペシャルガラスへの国内投資が順調に進捗し、今後の成長が見込まれると判断したため、2020年3月期の1株当たり期末配当予想について、前回予想に対して5円00銭増配し、25円00銭（中間配当と合わせ年間配当金45円00銭）と修正することを決定しましたのでお知らせいたします。

なお、本件につきましては、2020年6月に開催予定の当社定時株主総会に付議する予定です。

2020年3月期配当予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年5月14日発表)		20.00	40.00
今回修正予想		25.00	45.00
当期実績	20.00		
前期実績 (2019年3月期)	20.00	20.00	40.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,145	25,275
受取手形及び売掛金	25,353	26,832
商品及び製品	7,757	7,771
仕掛品	3,978	4,182
原材料及び貯蔵品	16,850	17,086
その他	2,593	2,245
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	72,674	83,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,246	15,828
機械装置及び運搬具（純額）	13,400	23,043
土地	12,595	15,351
リース資産（純額）	2,414	2,036
建設仮勘定	5,973	4,110
その他（純額）	892	1,723
有形固定資産合計	47,523	62,094
無形固定資産	1,680	2,610
投資その他の資産		
投資有価証券	24,757	24,308
退職給付に係る資産	287	287
繰延税金資産	2,935	1,834
その他	1,177	1,220
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	29,122	27,615
固定資産合計	78,326	92,320
資産合計	151,000	175,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,415	8,107
短期借入金	7,708	9,749
1年内返済予定の長期借入金	5,290	5,545
リース債務	449	440
未払法人税等	532	323
賞与引当金	1,110	463
その他	7,559	9,000
流動負債合計	32,066	33,627
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	9,696	15,289
リース債務	2,445	2,142
修繕引当金	5,013	5,199
退職給付に係る負債	9,805	9,230
その他	1,232	1,823
固定負債合計	28,193	43,684
負債合計	60,259	77,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	51,440	53,631
自己株式	△2,544	△2,550
株主資本合計	87,633	89,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,542	5,912
為替換算調整勘定	429	△467
退職給付に係る調整累計額	△1,892	△1,685
その他の包括利益累計額合計	2,079	3,759
非支配株主持分	1,027	4,823
純資産合計	90,740	98,400
負債純資産合計	151,000	175,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	63,181	64,061
売上原価	41,711	43,732
売上総利益	21,470	20,328
販売費及び一般管理費	14,604	15,087
営業利益	6,865	5,240
営業外収益		
受取利息	41	42
受取配当金	571	551
持分法による投資利益	45	29
受取賃貸料	60	60
為替差益	265	—
その他	185	126
営業外収益合計	1,170	810
営業外費用		
支払利息	156	196
為替差損	—	25
休止賃貸不動産関連費用	241	249
その他	177	221
営業外費用合計	576	692
経常利益	7,459	5,358
特別利益		
固定資産売却益	365	169
投資有価証券売却益	883	232
受取保険金	—	878
特別利益合計	1,249	1,280
特別損失		
固定資産処分損	326	107
減損損失	872	88
関係会社出資金売却損	—	351
災害による損失	311	1,018
その他	—	108
特別損失合計	1,509	1,673
税金等調整前四半期純利益	7,199	4,965
法人税、住民税及び事業税	733	903
法人税等調整額	871	112
法人税等合計	1,605	1,015
四半期純利益	5,594	3,950
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,567	3,828

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,594	3,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,125	2,356
為替換算調整勘定	△158	△1,123
退職給付に係る調整額	198	206
持分法適用会社に対する持分相当額	34	107
その他の包括利益合計	△3,051	1,547
四半期包括利益	2,543	5,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,518	5,508
非支配株主に係る四半期包括利益	24	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」の「その他」が386百万円増加し、「流動負債」の「その他」が42百万円及び「固定負債」の「その他」が426百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、「利益剰余金」の当期首残高は85百万円減少しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維 事業	原繊維材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,819	20,527	10,590	16,477	10,558	61,973	1,207	63,181	—	63,181
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6	4,766	29	164	151	5,119	1,549	6,669	△6,669	—
計	3,826	25,294	10,620	16,642	10,709	67,093	2,757	69,850	△6,669	63,181
セグメント利益 又は損失(△)	△224	3,154	1,609	556	2,221	7,317	148	7,465	△599	6,865

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業及び産業機械設備関連事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△599百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維 事業	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	2,939	18,912	14,172	16,070	11,384	63,480	580	64,061	—	64,061
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16	6,370	267	222	319	7,196	2,791	9,987	△9,987	—
計	2,955	25,282	14,440	16,293	11,704	70,676	3,371	74,048	△9,987	64,061
セグメント利益 又は損失(△)	△130	1,714	1,945	321	2,082	5,934	452	6,386	△1,145	5,240

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業及び産業機械設備関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,145百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。